



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所： 佐渡市両津総合体育館  
 試合区分： 成年男子 1回戦  
 開催期日： 2009年10月2日(金)  
 開始時間： 16:15

GAME No. 1002A4

主審： 相原 伸康  
 副審： 小菅 学

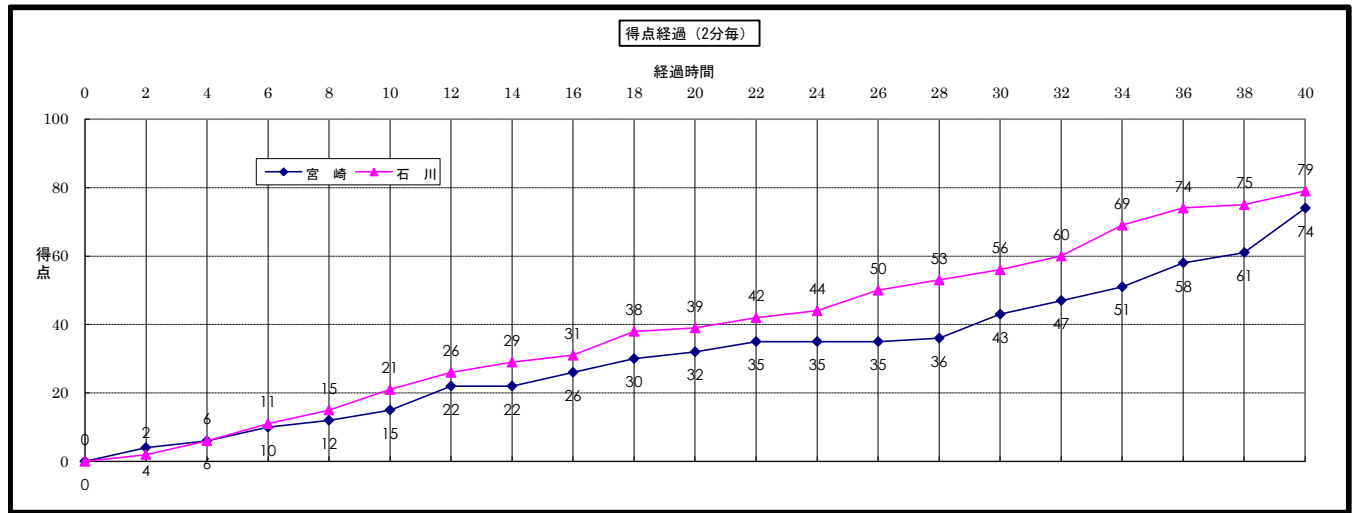
Team A	●	15 -1st- 21 17 -2nd- 18 11 -3rd- 17 31 -4th- 23	○	Team B
宮崎	74		79	石川

TEAM A		宮崎					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	北郷 謙二郎	14	2	3	2	5
5	*	村田 雄一郎	2	0	1	0	2
6	*	吉村 克佑	14	0	6	2	3
7	*	高橋 昌史	27	3	7	4	5
8	*	月野 功大	3	0	1	1	1
9		和田 力也	6	1	0	3	1
10		米澤 翼	8	1	1	3	2
11		一宮 孝博	0	0	0	0	2
12		池田 耕士	0	0	0	0	2
13		井上 昌人	-	-	-	-	-
14		秋山 将志	0	0	0	0	0
15		佐土平 啓志	-	-	-	-	-
Coach		菅原 正伸	-	-	-	-	0
TOTAL			74	7	19	15	23

TEAM B		石川					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	高村 和臣	27	5	4	4	2
5		森澤 智博	-	-	-	-	-
6	*	多賀 正士	11	1	2	4	4
7		宮崎 裕之	7	2	0	1	3
8	*	熊倉 浩一	6	0	0	6	2
9		宮元 衛	3	0	1	1	1
10		上野 学	1	0	0	1	1
11		寺井 友作	10	0	3	4	3
12		北村 欣也	-	-	-	-	-
13	*	宮村 徹	12	0	6	0	2
14		笹川 健二	0	0	0	0	0
15	*	高井 康大	2	0	1	0	2
Coach		塚本 誠	-	-	-	-	0
TOTAL			79	8	17	21	20

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	11:48	-	24:49	27:23 33:23		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	15:51	-	37:09	39:13		



ゲームレポート

\* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、ディフェンスは互いにマンツーマンで始まる。宮崎は#6吉村のフリースローが決まるとそのまま連続6得点で流れを掴む。さらに#8月野が速い攻めでゲームを引っ張り自らのドライブシュート、#7高橋のジャンプシュート、インサイドでは#5村田が得点する。一方石川は、開始3分まで得点が動かないものの、#6多賀の3Pライン1m後ろからのシュートや速攻で勢い付くと、残り2分過ぎには厳しいディフェンスからターンオーバーを得て連続7得点し15-21と石川リードで終わる。

2Q、石川は#4高村の3Pシュートが決まると、相手チームのファウルを誘い、#11寺井、#6多賀、#8熊倉のフリースローだけで10得点を重ねる。宮崎は、開始2分までリズムよいシュートを打たせてもらえず、たまたまタイムアウトをとる。その後#4北郷のアウトサイドのシュートが連続して決まると、#8月野、#7高橋のドライブシュートで石川に詰め寄る。32-39と7点差で後半に折り返す。

3Q、開始早々、石川#8熊倉の3本のフリースローが決まると、#11寺井、#9宮元、#4高村らが精度の高いアウトサイドシュートを沈めていく。反撃したい宮崎は、#7高橋の3Pシュートで反撃ののろしをあげるが、その後残り5分まで得点が止まってしまう。宮崎は、2回のタイムアウトをとり流れを変えようとするが、このクォーター9得点で終わる。43-56と13点差で最終クォーターを迎える。

4Q、宮崎は、#4北郷、#6吉村の速い展開から得点し流れをつかむ。その後#7高橋にボールを集めると高橋はその期待に答え、このクォーター12得点をたたき出す。一方、石川は早いバスワークから、#4高村が3Pシュート、#13宮村がジャンプシュートを決める。落ちたシュートに対してもオフェンスリバウンドを奪い取り粘り強く攻めていく。宮崎は、体を張って石川のチャンスを潰していき、残り2分過ぎに#4北郷、#10米澤、#9和田が連続3Pシュートを決め一時4点差まで詰め寄ったが、74-79と石川が逃げ切り、石川が準々決勝に駒を進めた。

記載責任者	羽二生 喜國 (所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	-------------	---------------